

MINAMI MADO

2024.12. No.52



独立行政法人 国立病院機構
大阪南医療センター

大阪南医療センター 循環器疾患センター



胸背部痛、呼吸困難、動悸等
循環器疾患が疑われる際には
緊急対応連絡先へご連絡ください。

24時間緊急対応 (ハートコール)

直通 TEL : 0721-53-3200



Instagramはこちら ▶

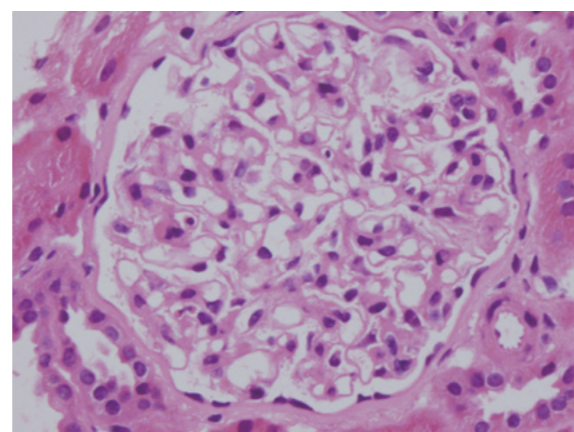
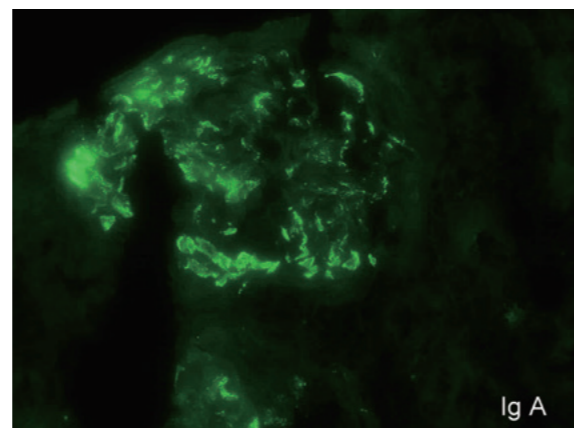


LINEはこちら ▶



検尿異常を認めたら なるべく早期に「腎生検」を

慢性腎臓病は、早期発見・治療が重要です。腎障害は、自覚症状が乏しく、病気に気づかず長期間を過ごす場合もあり、血液検査・尿検査で腎炎が疑われる場合は、比較的若い患者様であれば、当院へ紹介していただき、「腎生検」を受けていただくのが最善と考えます。診断結果により、薬物療法などを検討し、生活指導や、栄養士を交えてご自宅での食事療法もサポートしています。治療は当院で継続することもあれば、かかりつけ医の先生にお戻りする場合があります。こうした連携がスムーズに行われることは、患者さんには大きなメリットといえるでしょう。

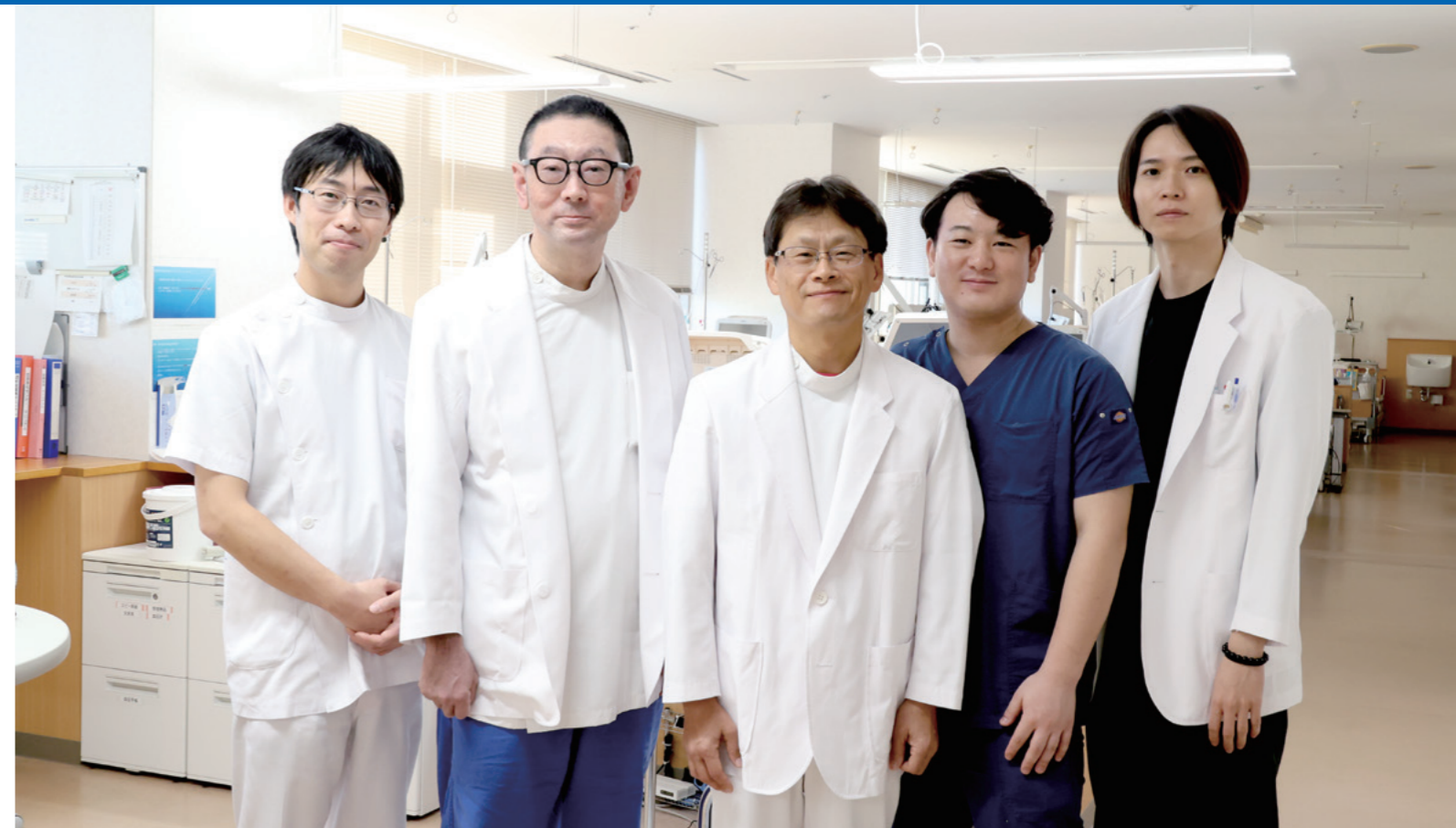


IgA腎症における 「扁桃摘パルス療法」も積極的に

慢性糸球体腎炎の中で「IgA腎症」は日本人に最も多く発症する病気です。成人の場合、「20年で40%前後が腎不全に至る」ことが報告されており、早めの対処が重要です。治療としては降圧薬などの薬物療法のほか、将来、進行する確率が高いと判断した場合、「扁桃腺摘出術+ステロイドパルス療法」を行っています。異常なIgAの発生源と考えられる扁桃腺を摘出し、糸球体の炎症を抑制するためのステロイドパルス療法を行うもので、重症度にもよりますが、7~8割は進行を抑えられることがわかっています。



腎臓内科医長 安東豊



腎臓内科医 左から 森田将史、飯尾健一郎、安東豊、炭谷有亮、亀田聡士

「腎透析」医療の拠点病院として患者さんに寄り添う

毎年50名前後の新規の患者さんを当院で透析導入しています。血液透析と腹膜透析は、患者さんに自分に適したほうを選択していただきます。患者さんの声に耳を傾けつつ説明を重ね、患者さんの不安を取り除くよう心掛けています。しかし、透析を回避できるのに越したことはありません。私たちは早期発見・治療につなげるべく、地域の先生方との連携をさらに強化し、推進したいと願っています。

